

各委員会行政視察報告

建設産業常任委員会

5月21日～23日(所管事項調査)

一 徳島県小松島市

「土木施設アドプト事業について」

市民の自主的な活動支援と公共サービスの担い手を育成する目的で事業を開始した。同事業は市民団体や企業が公共土木施設の里親となり定期的に清掃・美化活動を行うものであり、市民協働の街づくりを推進している。

三 徳島県鳴門市

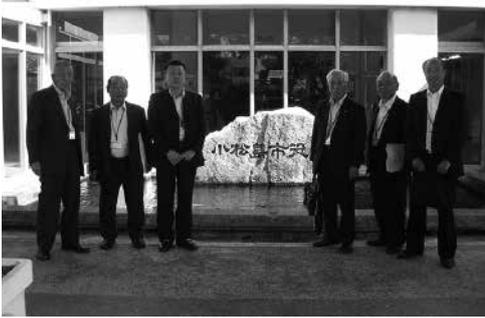
「エコノミックガーデンニング鳴門について」

エコノミックガーデンニングとは、行政や銀行などが連携しながら中小企業が成長できるビジネス環境をつくる施策を展開するもので、雇用創出や税増が期待できるため、鳴門市では平成24年度から実施している。

二 株式会社いろどり(徳島県上勝町)

「彩事業について」

地元の上勝町も出資して会社を設立し、町ぐるみで葉っぱを使った地域ビジネスを高齢者が中心となって展開しており、高齢者自らタブレット端末等を駆使してマーケティングを行いながら、葉っぱを全国に出荷している。



小松島市役所にて

文教常任委員会

5月21日～23日(所管事項調査)

一 佐賀県武雄市

「タブレット型端末を活用した授業について」

ICT(情報通信技術)を活用した反転授業(自宅で次の授業の予習を行い、学校で予習で得た知識を応用し、生徒同士が協働しながら課題に取り組み(授業)を行っており、電子黒板とタブレット端末を使用し、先進的な授業を行っている。

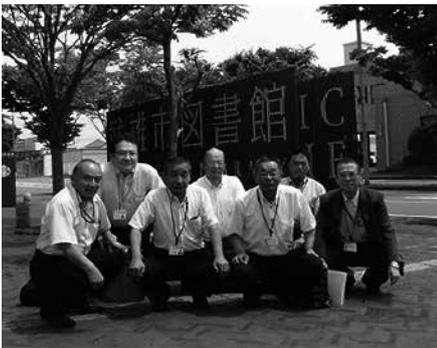
二 大分県豊後高田市

「学びの21世紀塾事業について」

「教育のまちづくり」を目標にする豊後高田市では、放課後や土曜日を利用し、地域の方々と民間等の人材を活用し、子どもたちの基礎学力の向上及び豊かな心や健やかな体力づくりを推進するため、学びの21世紀塾を開塾している。

「図書館の指定管理者導入事業について」

武雄市図書館は、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)が指定管理者となり、民間企業のコンセプト及びノウハウを導入し、市民サービスの向上を目指した先進的なスタイルを確立した図書館である。



武雄市図書館前にて(武雄市)

永年在職議員の表彰

全国市議会議長会より永年在職議員の表彰があり、第2回市議会定例会初日に表彰伝達式が行われました。

(10年表彰)

篠崎 博 議員

(10年表彰)

藤田 紀夫 議員

(10年表彰)

引地 達雄 議員